

JLU第12期 2020年末闘争スタート 年末要求アンケートにご協力を



アンケート
QRコード

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 494 (12-01)
2020年 09月 14日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

9月10日、日本航空ユニオンは定期組合大会を開催し、第12期がスタートしました。そして2020年末闘争はすぐ始まります。コロナ禍で労働者にとって厳しい状況ですが、こういう時だからこそ労組の出番です。良い要求を作って会社に届けましょう。WEBでも実施中！【裏面は年末アンケートとなっています】

年末のスケジュールと取り組み

9月11日
アンケート開始

10月2日
アンケート締切り

10月6日
年末要求(案)作成

10月14日
中央委員会
要求決定・提出

11月04日
回答指定日

11.20
航空の山場

幅広く 声を集めます

「JAL グループ全社員アンケート」でなるべく多くの声を集めて要求作りに役立てます。今年の春、夏の交渉では業績リンクも提示されていませんし、年末の一時金の水準は全く決まっていません。皆さんがアンケートで答えた係数や定額を元に要求を作ります。生活に必要な数字を率直にご記入ください。

集めた声を会社へ

社内の教育・会議はオンラインで行われるようになっていますが、年末交渉は対面で開催。第12期の執行委員が責任を持って職場の想いを伝えます。10月3週目から1か月間が交渉期間となります。訴えたいことがありましたら、JLUの組合役員にお伝えください。団交の日程は早めに分かるよう会社も工夫しています。執行委員を交渉に送り出すことで職場改善につながります。ご協力お願いします！

私たちもエッセンシャルワーカー

新型コロナ対応で昼夜関わっている医療従事者たちに感謝を伝えようとブルーインパルスが東京上空で編隊飛行を行ったように、エッセンシャルワーカーをリスペクトする動きが世界的に広がっています。航空業界もエッセンシャルワーカーの割合が高く、リモートワークができない職場では「ステイホーム」も短期間で終わり、通常通り勤務しています。

感謝や尊敬を表す取り組みは増えているものの、元々ブルーカラーと呼ばれていた職種で、雇う側が「やりがい」を意識させることで低賃金に抑えてきました。これを東京大学の本田由紀教授は「やりがい搾取」と名づけました。航空業界にも該当する職場があるでしょう。在宅勤務にも苦労があるのはわかります。ただ、外出自粛と言われるなかで働かなければならなかった職場に目を向け、気持ちだけでなく待遇改善で答えてほしいものです。私たちは「やりがい」だけでは生きられないと訴えていきます。【東京新聞 2020.04.30】

エッセンシャル・ワーカーとされる職業の例

- 医師
- 看護師
- 薬剤師
- 保育士
- 介護士
- 公共交通やトラックの運転手
- 電気やガスなどインフラ関係
- スーパー店員
- 警察官
- 消防・救急隊員

など

【東京新聞 2020.04.30】

台風で損害を受けた時の見舞金

台風10号で被災された方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。日本航空ユニオンでは、組合員が現に居住する家屋が台風、地震で損害を受けた場合「災害見舞金」を支給しています。今後も大型台風が本州に上陸する可能性が増えていることから警戒は必要です。もしも被害にあったら修理・復旧する前に写真を取っておくことを忘れずに。落ち着いたら組合に連絡を。

【WING494(12-01)号 2020,09,14】

裏面は「年末要求アンケート」です